

琉球大学研究データポリシー

令和6年3月18日
学 長 裁 定

琉球大学（以下「本学」という。）は、「真理の探究」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を基本理念とし、琉球・沖縄文化研究および熱帯島嶼海洋研究など、地域の特色を生かした研究の成果をもって沖縄や日本、世界の新たな「地（知）の拠点」となることを目指している。

研究データは、研究者にとって研究の根幹と言うべきものであるが、公的資金に基づく研究によって収集・生成された研究データは国民の共有財産でもあるため広く利活用されることが望ましい。また、研究データを適切に管理し、公開等を通じて利活用を促進することは、本学の理念へとつながるものと言える。これらの点を踏まえ、研究データポリシーを以下のように定める。

1. 定義

本ポリシーにおいて「研究データ」とは、本学の研究活動を通じて収集又は生成されたあらゆるデータをいい、デジタル・非デジタルを問わない。

2. 適用範囲

本ポリシーは、本学に所属し研究活動を行う全ての者に適用する。

3. 研究者の責務・権利

- (1) 研究者は、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、関係する法的小よび倫理的要件に従って適切に研究データを管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。
- (2) 研究者は、法令並びに契約及び倫理上の要件などの合理的な理由に基づき、研究データの公開又は共有を行わないことができる。

4. 大学の責務

本学は、研究者による研究データの管理および公開に関する環境を整備し、利活用を促進するものとする。

5. その他

本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じて適宜見直しを行うものとする。